

(第2号、第3号議案資料)

令和6年度

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

事業計画書

収支予算書

公益財団法人 松尾学術振興財団

## 令和 6 年度事業計画

資金の運用による果実を事業運営の柱としている当財団にとっては、長期間続く超低金利下での資産運用は誠に厳しい状態にある。特に日本に於ける超低金利政策による経済活動の安定化はあるものの、ウクライナ戦争やガザ地区へのイスラエル侵攻等の不安定要因が経済に及ぼす影響などが予測し辛い状況が続いている。令和 5 年度の事業は不確実性はあるものの、米国金利上昇に伴う急激な円安により多少の改善が見られた。また、今年度は資産運用面では最近の豪ドル円安傾向を受けて比較的高利回りを維持していた債券のクーポン利率改善が見られるが、米ドル・中国経済の不透明感もあり計画立案が難しい状況である。今後の運用収入はさらに予測しづらい状況で経費の圧縮をはかりつつ、在宅勤務を導入し費用面での見直しも実施している。

こうした厳しい環境下ではあるが公益財団としての使命を考え、令和 6 年度事業計画予算は自然科学研究助成(公 1)、褒賞(公 2)、音楽(公 4)は前年比同額を確保し、調査研究(公 3)は今後の予備的費用を計上した。

令和 6 年度の事業概要は以下のとおりである。

### 事業概要

#### (1) 自然科学研究助成(公 1)

##### ① 学術研究助成(第 37 回松尾学術研究助成)

対象研究分野 原子分子物理学及び量子エレクトロニクスの基礎に関する実験的・理論的研究。

助成対象者 大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者

推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

助成金額 総額 1,800 万円

件数 5~6 件(1 件当たり 200~300 万円)

募集期間 4 月 1 日~7 月 31 日

審査・決定 自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月下旬予定)

##### ② 研究集会・国際共同研究の開催及びこれらへの参加に対する助成

対象研究分野 前記学術研究助成の分野

助成対象者 研究集会開催責任者、国際共同研究にあつては代表研究者  
海外の国際会議に出席し、対象研究分野の研究論文発表を行う若手研究者

助成費 総額 30 万円(2~3 件)

募集 随時受付

審査・決定 選考委員長の審査を経て、理事長が決定する。

(第 2 号議案資料)

(2)褒賞 (公 2)

①松尾財団宅間宏記念学術賞

授賞対象者 原子分子物理学と量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者(若手研究者を優先)

推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

賞金と件数 原則として 1 件 賞金 200 万円

募集期間 4 月 1 日～7 月 31 日

審査・決定 審査は前記学術研究助成の選考委員会があたり、理事会において決定する。

② (堀素夫賞)

授賞対象者 確率・統計分野で、特に数理的研究業績が顕著と認められる研究者。  
年齢不問

推薦者 関係する分野の学識経験者

賞金と件数 原則として 1 件 賞金 200 万円

推薦期間 追って決定

審査・決定 追って決定

(3)調査研究 (公 3)

公 3 研究活動は人類の文化における自然科学研究の価値を、自然科学と人文科学の両面で正しく評価する基盤を確立し、その成果を世に問う出版への積みあげ活動であるが、今後の方向性を検討するアイテム捜しの予備費として各月 5 千円を計上する。

(4)音楽助成 (公 4)

①音楽助成(松尾音楽助成)

優れた若手弦楽四重奏団の育成を目的とする音楽助成で、当財団の特色ある助成として実施する。

対 象 若手の弦楽四重奏団(平均年齢 35 歳以下)

推薦者 財団の定める音楽大学、管弦楽団、又は財団役員を含む音楽界有識者

助成金額 総額 350 万円(助成期間 1 年)

助成団体 助成団体 2～3 団体

募集期間 4 月 1 日～12 月 20 日

審査・決定 書類選考の後、翌年 2 月オーディションを行い音楽選考委員会の審査を経て、理事会において決定する。

②コンサートの開催

すでに松尾音楽助成を受けた団体の研修成果の発表の場として、一般聴衆を対象とした入場無料のマツオコンサートを開催する。(翌年 2 月、よみうり大手町ホール)

## 令和6年度収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益の部				
①基本財産運用収入	40,124	34,910	5,214	米ドル高による配当増加
②特定資産運用収入	6,082	6,880	△ 798	投資信託分配金大巾減少
③寄付金収入				
④雑収入	0	0	0	
経常収益計	46,206	41,790	4,416	
(2)経常費用				
①.事業費				
助成費	23,133	24,009	△ 876	見直し
褒賞費	4,000	4,000	0	
調査研究費	60	60	0	予備費計上
選考費	3,540	3,440	100	選考委員会 如水会館で
役員報酬	2,800	2,800	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	525	525	0	
法定福利費	0	0	0	
会議費	987	837	150	写真代増
旅費交通費	225	210	15	在宅減少
通信運搬費	499	440	59	PC支援増
消耗什器備品費	20	20	0	
事務用消耗品費	30	44	△ 14	節約
印刷製本費	8	42	△ 34	再リース減
借室費	950	1,350	△ 400	新事務所移転減
計	36,777	37,777	△ 1,000	
②管理費支出				
役員報酬	2,800	2,800	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	525	525	0	
法定福利費	0	0	0	
会議費	900	900	0	
旅費交通費	225	210	15	出勤増
通信運搬費	435	373	62	PC支援増
消耗什器備品費	100	100	0	
事務用消耗品費	82	113	△ 31	節約
印刷製本費	400	430	△ 30	再リース減
借室費	950	1,350	△ 400	移転による減
図書費	60	50	10	
雑費	900	1,006	△ 106	見直し
計	7,377	7,857	△ 480	
経常費用計	44,154	45,634	△ 1,480	
評価損益調整前当期経常増減額	2,052	△ 3,844	5,896	
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	2,052	△ 3,844	5,896	
2. 経常外増減の部				
経常外収益				
経常外費用	0	0		
当期経常外増減額	0	0		
当期一般正味財産増減額	2,052	△ 3,844	5,896	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
III 当期正味財産増減額	2,052	△ 3,844	5,896	

令和6年度収支予算書(事業区分別経理)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:千円)

	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
	自然科学助成	褒賞	調査研究	音楽助成				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産利息	12,911	2,600	33	3,989	529	20,062	20,062	40,124
② 特定資産運用益								
特定資産利息	2,740	552	7	846	112	4,257	1,825	6,082
③ 受取寄付金						0		0
④ 雑収益						0		0
経常収益計	15,651	3,152	40	4,835	641	24,319	21,887	46,206
(2) 経常費用								
① 事業費								
助成費	18,400			4,733		23,133		23,133
褒賞費		4,000				4,000		4,000
調査研究費			60			60		60
選考費	1,996	234		1,310		3,540		3,540
役員報酬	1,680	280		840		2,800		2,800
給料手当						0		0
退職給付費用	315	52		158		525		525
法定福利費						0		0
会議費	864	123				987		987
旅費交通費	135	22		68		225		225
通信運搬費	259	52		188		499		499
消耗什器備品費					20	20		20
事務用消耗品費	15	3		12		30		30
印刷製本費	5	0		3		8		8
借室費					950	950		950
② 管理費								
役員報酬						0	2,800	2,800
給料手当						0	0	0
退職給付費用						0	525	525
法定福利費						0	0	0
会議費						0	900	900
旅費交通費						0	225	225
通信運搬費						0	435	435
消耗什器備品費						0	100	100
事務用消耗品費						0	82	82
印刷製本費						0	400	400
借室費						0	950	950
図書費						0	60	60
雑費						0	900	900
経常費用計	23,669	4,766	60	7,312	970	36,777	7,377	44,154
評価損益等調整前	-8,018	-1,614	-20	-2,477	-329	-12,458	14,510	2,052
基本財産評価損益等								
特定資産評価損益等								
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-8,018	-1,614	-20	-2,477	-329	-12,458	14,510	2,052
2. 経常外増減額								0
(1) 経常外収益								0
(2) 経常外費用								
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減	-8,018	-1,614	-20	-2,477	-329	-12,458	14,510	2,052
II 指定正味財産増減の部						0		0
当期指定正味財産増減額								
III 当期正味財産増減額	-8,018	-1,614	-20	-2,477	-329	-12,458	14,510	2,052

